

床下浸水した家屋の泥だし等に関する基礎知識取得研修 開催要項

1、趣旨

岩手県は近年、東日本大震災・台風10号豪雨災害などの自然災害を経験し、発災後の支援活動におけるニーズや課題を通じ、平時から災害に対する備えの重要性を痛感しました。また、災害ボランティアセンター設置後のボランティア活動において、床下浸水した家屋の泥出し手順等について支援者側が把握できていない現状でもあります。

本研修は、行政・社協・NPOや市民が合同で床下浸水した家屋の泥出し等に関する基礎知識を学び、ワークでの実技を通じ効果的な手順を取得します。また、研修の学びから地域の防災力を向上させるとともに、今後起こりうる災害時に迅速なボランティア活動の実現と、一日も早い被災者の生活再建につなげることを目的とします。

2、テーマ

- ・災害ボランティア活動時における被災家屋の泥出し等の効果的作業方法を学び、体験する
- ・研修を通じ行政・社協・NPOなど災害支援に関わる方々の関係構築を図り、災害時の円滑な支援につなげる

3、主催

特定非営利活動法人いわて連携復興センター

4、協力

社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会

社会福祉法人 雫石町社会福祉協議会

いわてNPO災害支援ネットワーク

5、後援

岩手県

6、助成

Yahoo! 基金 「2017年度東日本大震災復興支援助成」

7、期日

平成30年8月25日(土) 10:30~15:00(受付10:00~)

8、会場

社会福祉法人 雫石町社会福祉協議会 (〒020-0541 岩手県岩手郡雫石町千刈田 82-2)

9、対象

- (1)県・市町村行政防災（災害）担当課
- (2)市町村社会福祉協議会職員
- (3)NPO 団体職員、個人ボランティア等テーマに関心のある方

10、日程・プログラム

別紙のとおり

11、定員

30 名程度

12、参加費

無料

13、参加申込

- (1) 別紙様式 1 により、8 月 22 日（水）までに FAX 又は E メールで事務局宛にお申込み願います。
- (2) 昼食は各自ご用意いただくもしくはお済ませくださいますようお願い申し上げます。

14、事務局・お問い合わせ

特定非営利活動法人いわて連携復興センター 担当：大向

〒024 - 0061 岩手県北上市大通り 1 - 3 - 1 おでんせプラザぐろーぶ 4F

Tel : 0197 - 72 - 6200 Fax : 0197 - 72 - 6201

E-mail : ohmukai@ifc.jp

15、備考

- ・当日は床下セットを用い、実際に作業体験の時間を設けますので、動きやすい服装でご参加ください。
- ・作業体験は屋内で行います。釘等を用いた作業が想定されますので上履きをご持参ください。

(別紙)

床下浸水した家屋の泥だし等に関する基礎知識取得研修 プログラム

時 間	内 容
10：00～10：30	受付
10：30～10：35	趣旨説明
10：35～12：00 (85分)	<p>講義：「技術系ボランティアに係る知識と安全衛生」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 近年の災害における技術系支援の連携事例 近年の大規模災害（熊本地震、九州北部豪雨、西日本豪雨など）から、災害ボランティア活動の特徴や技術系 NPO と災害ボランティアセンターの連携についてお話しいたします。・ ボランティア活動と安全衛生 ボランティア活動やボランティアコーディネートを行う上での安全衛生・危険予知に関するワークショップを行います。 <p>講師：風組関東 代表 小林 直樹 氏 一般社団法人 OPEN JAPAN 副代表 肥田 浩 氏</p>
12：00～13：00	休憩・移動
13：00～15：00 (120分) ※適宜休憩	<p>講義&実技（ワーク）：「床下対応基礎講習」</p> <p>災害ボランティア活動で使用する資機材の取り扱い、災害ボランティア向けの装備と資機材に関する知識を踏まえ、床下泥出しに関する一連の流れを体験します。</p> <p>講師：風組関東 代表 小林 直樹 氏 一般社団法人 OPEN JAPAN 副代表 肥田 浩 氏</p>
15：00	閉会

様式 1)

床下浸水した家屋の泥だし等に関する基礎知識取得研修

参加申込書

特定非営利活動法人いわて連携復興センター 大向 行 ※ 添書不要
FAX 0197 - 72 - 6201
E-mail ohmukai@ifc.jp

市町村名	
申込担当者名	
連絡先 (Tel もしくは E-mail)	

No	氏名	所属名	職名	備考
1				
2				
3				

※ 申込締切：8月22日（水）

